日胆・函館・後志

工事7%減、291億円受注

後志管内土木3官庁 22年度上半期実績

【小樽】後志管内土木3官庁（小樽開建、小樽建管、後志総合局農村）の2022年度上半期（4―9月）業者別工事受注実績が本紙集計でまとまった。前年度同期と比べ13者少ない117者が7・1%減の291億72万円を受注。協成建設工業が11件、19億7779万円を獲得し、第1四半期（4―6月）から1つ順位を上げ、首位となった。受注額に占める管内業者のシェアは79・3%だった。

首位は19億円の協成建設工業

税抜きの開札結果を集計し、共同体は構成比率に応じて配分。21年度末発注のゼロ国債やゼロ道債、翌債、年度末契約は全額、多年度債は22年度支払い分をそれぞれ計上した。

上位20者のうち、18者は第1四半期と同じ。協成建設工業は第2四半期（7―9月）に5号仁木町仁木北改良ほか一（開建）を単独で、茅沼鉱山泊線防災安全B地方道切り土2工区（建管）を共同体メインで受注した。

2位の吉本組は9月に茅沼鉱山泊線防災安全B地方道切り土（建管）を共同体メインで射止めた。3位の佐々木組は同工事を共同体サブで請け負った。

櫻組と藤信建設が第1四半期から順位を上げ、20位以内にランクイン。5号仁木町大黒川橋下部（開建）などを追加した和田建設工業が第1四半期の19位から11位に浮上した。

発注機関別の受注額は開建が9・1%減の187億9760万円、建管が8・2%減の85億5541万円、総合局が31・8%増の17億4771万円だった。

地域別で見ると、管内業者は6者少ない64者が2・3%減の230億8437万円を獲得。シェアは4・3ポイント拡大した。

管外の道内業者は3者少ない42者が9・6%減の44億7882万円を受注し、シェアが15・4%と0・6ポイント縮小。道外業者は4者少ない11者で、受注額は43・8%減の15億3752万円にとどまった。シェアは3・7ポイント縮小の5・3%だった。

後志管内土木3官庁2022年度上半期 業者別工事受注実績・上位20者

（金額・単位千円）

	業者名	所在地	件数	金額
1	協成建設工業	岩内	11	1,907,792
2	吉本組	岩内	11	1,819,259
3	佐々木組	岩内	9	1,279,474
4	草別組	岩内	7	1,165,107
5	横関建設工業	倶知安	4	1,110,400
6	白木建設工業	倶知安	6	1,052,990
7	福津組	古平	7	1,027,109
8	長組	寿都	7	1,016,090
9	阿部建設	小樽	7	1,003,080
10	中村建設	余市	8	924,770
11	和田建設工業	余市	7	864,988
12	菊地建設鉱業	京極	6	788,960
13	近藤工業	小樽	8	784,000
14	櫻組	京極	5	679,750
15	小田組	小樽	6	668,380
16	スガワラ	黒松内	5	616,040
17	久保組	小樽	7	599,620
18	瀬尾建設工業	倶知安	6	581,570
19	星組土建	寿都	5	581,190
20	藤信建設	倶知安	5	515,453

社会資本整備を紹介

どうなん建設おしらせ隊 小学生招く

見学会

インフラ整備に関わるさまざまな業種の仕事内容を紹介した

【函館】どうなん建設おしらせ隊は10月27―28日、函館開建函館港湾事務所に市立万年橋小の5、6年生を招き、函館港内の見学会を開いた。測量体験なども企画し、社会資本整備が生活にどのように関わっているかを伝えた。

おしらせ隊は函館開建、函館建管、函館測量設計業協会、函館建青会で組織。地域の小学生らに社会資本整備や建設業、設計業などに興味を持ってもらおうと現場見学会を毎年開いている。今回は5年生29人、6年生22人を招いた。

隊長を務める武下和幸函館開建技術管理官は、社会インフラについて「計画する国や道の機関、設計を担当する測量会社、形にする建設業まで非常に多くの人が関わって造っている」と説明。建設の仕事を「少しでも理解してほしい」と呼び掛けた。

測量監督船おおみずなぎで函館港若松地区のクルーズ船岸壁の浚渫現場を案内。事務所では港湾施設の役割を説明したほか、トータルステーション、3Dスキャナーによる測量体験もした。

見学後に6年の佐々木乃愛さんは「（函館港内の施設は）どれも大きくて迫力があった」と話した。

武下技術管理官は「担い手不足の中、小さい頃から建設業を理解してもらい、将来の選択肢の一つとして印象に残れば」と期待した。

ニュースのお知らせは
最寄りの支社局

苫小牧支社
☎0144(33)0161
FAX(31)2209

函館支社
☎0138(52)3870
FAX(33)2185

小樽支社
☎0134(33)0866
FAX(21)2031

室蘭支局
☎0143(24)5188
FAX(25)2235

11社、10人を表彰

室蘭開建 22年度下請企業

【室蘭】室蘭開建は、2022年度下請け企業表彰の対象企業11社と専任技術者10人を発表した。表彰は公共事業の品質確保と下請け企業の技術向上が目的。表彰式を1日午後1時半から室蘭開建本部で開く。

受賞企業と専任技術者は次の通り。（カッコ内は対象工事、敬称略）

▽北幸重建（樽前山火山砂防熊の沢川3号堰堤右岸）佐藤和貴▽新興開発（235号日高町沙流川橋耐震補強ほか）渡辺雅之▽丸重清川（日高自動車道新冠町節婦改良ほか）佐藤健二▽山岡建設工業（勇払東部地区富野用水路上野南工区ほか災復）千葉清司

▽中原建設（厚真川水系チケッペ川ほか砂防設置）竹内靖和▽本多建設（同）▽広

高道新冠

田中真一

高道新冠

橋脚）梶

スケー（

東高架橋

正登

▽丸博

部地区厚

下流工区

▽昭栄興

区富野用

2工区ほ

幸

日特建設など4社選定

22年度下請け企業表彰

小樽開建

【小樽】小樽開建は、2022年度下請け企業表彰の受賞者を公表した。日特建設、北一北成建設、晃亜興業、みかみ建設を選定。1日に同開建庁舎で表彰式を開く。

小樽開建発注で3500万円以上の専門工事を担った1次下請け業者が対象。北海道開発局優良工事等表彰を受賞した工事で、品質確保・向上に特に貢献した企業をたたえる。

受賞企業と専任技術者は次の通り。（カッコ内は対象工事、敬称略）

▽日特建設（5号仁木町仁木南改良）植野則隆▽北一北成建設（5号共和町ワイス南改良ほか一）須藤陵太▽晃亜興業（5号余市町登町南改良）石黒照康▽みかみ建設（5号小樽市春香改良ほか一）金子靖孝

95者が61億円受注

室蘭開建

22年度上半期委託実績

【室蘭】室蘭開建の2022年度上半期（4―9月）業者別委託受注実績が本紙集計でまとまった。95者が258件、61億3365万円を獲得。

前年度同

6件、額

室蘭開建2022年度上半期 業者別委託受注実績・上位10者

（金額・単位千円）

高規格道路整備求める

○…函館…○

舗装3団体が開建、建管に要望

中田会長（右）が滝田副局長に要望書を手渡した

【函館】日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会、北海道舗装事業協会は10月27日に函館開建、同28日に函館建管へ高規格道路の整備促進などを要望した。

建管には道舗装事業協会の中田隆博会長、伊藤大樹理事、太田広専務理事と日本道路建協道支部の井出将哉幹事長が訪問。建管担当の滝田哲也渡島総合局副局長、有馬純生部長ら9人が迎えた。

中田会長は「都市間が非常に長い本道は道路整備が欠かせない。しかし若手の育成・定着などが課題で、アスファルト価格も高騰している。来年度に向けた支援を」と求めた。

滝田副局長は「道路の維持・補修に必要な予算の確保に向け、要望の趣旨を本庁関係各課に伝えると共に、引き続き交通ネットワークの整備を着実に進めたい」と答えた。

要望書には公共事業予算確保や国土強靱化の推進、高規格道路の整備促進などを盛り込んだほか、資材価格高騰に対応した単品スライド条項の弾力的な

た。

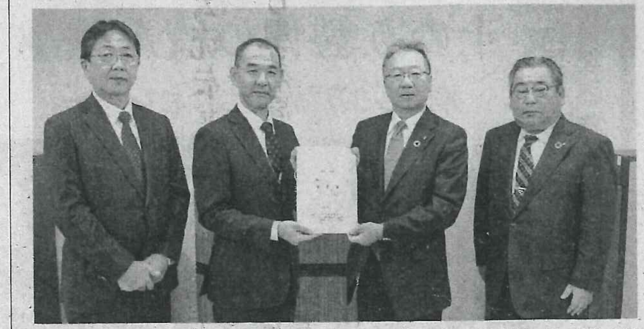
室蘭 道路予算増

【室蘭】北海道舗装事業協会、日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会は10月28日、

蘭建管に

路関連予

項目を要



事

博

を

開

当

合

書

し

資

の

の

室

長

す

ら

榎本武揚の人物像解説

顕彰する会が講演会

【函館】函館榎本武揚を顕彰する会は10月29日、銅像建立10周年を記念した講演会をホテル法華クラブ函館で開いた。一般市民のほか、建設業界などから100人が参加。武揚の生涯に関する書籍を出版した函館市在住の根津静江さんが、その人物像や多くの人の心をいまなお引き付ける理由などについて解説した。

武揚の功績を振り返った

同会は、北海道開拓や外交を担ったほか、主要な大臣を歴任して国政にも貢献した武揚の功績をたたえる活動を展開している。函館にゆかりがあることから、2012年12月、武揚の雅号「梁川（りょうせん）」にちなんだといわれる函館市梁川町の梁川交通公園内に銅像を建立した。

根津さんは1928年生まれで、74年の社会奉仕団体・函館ゾンタクラブ設立に携わった一人。武揚に関する書籍「男の中の男・開国の先駆者 榎本武揚の点描」を21年に出版したことから講師として招いた。

講演では国際情勢などに対する勤勉な姿勢や、明治維新後に失職を余儀なくされた武士を助けた

いという

に言及し

書籍で

ソードを

明するた

んだ俳句

新技

橋

【函館

021―

する橋梁

画を一部

新技術を

減を目指

町が管

橋あり、